

令和7年度 第2回 蒲小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月30日(木)9:55~11:35
- 2 開催場所 浜松市立蒲小学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 稲垣 邦圓、原 利夫、鈴木 厚子、橋爪 洋子、名倉 善郎、
早川 奈穂子、佐藤 紀子、名波 久子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 平野 悦司（蒲協働センター所長）
- 6 学 校 内山 圭子（校長）、大宮 久人（教頭）、磯部 真代（教頭）、
梅村 友之（主幹教諭）、磯部 陽子（CSディレクター） 他41人
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 磯部 陽子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、早川委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

(1)地域愛を育むために

「語り合おう！蒲の地域」

11 会議記録

司会の大宮教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

<学校から>

・昨日蒲小学校の先生方は、蒲の地域をよく知るために、それぞれグループに分かれて蒲小学区の蒲神明宮や商業施設などを見学した。学校運営協議会と先生方との交流を図り、蒲について語り合える場にしたい。(内山校長)

・国立教育政策研究所名誉所員 小松郁夫氏を招き、学校と地域で創造する蒲地域の未来について講話していただく。(磯部教頭)

・グループワークで蒲の地域について、学校運営協議会委員の方々と共に話し合う。(大宮教頭)

<語り合おう！学校と地域で創造する蒲地域の未来>についての講話

蒲小学校の地域について、以下の事柄についてお話を伺った。

①子供たちが生きていく2025年以降の社会像

②学校でのまなびと家庭地域社会でのまなび

③公共学校の役割と地域の未来

※詳しい内容は別紙参照

(1)グループワーク（蒲の地域について）

議長の指示により、8グループに分かれ、学校運営協議会委員の皆様と蒲小学校職員と一緒に話し合いをした。

委員や蒲小学校職員からは、以下の発言があった。

- ・子供たちとの地域が連携し、町探検や地域の方々の講話などをもっと増やした方が良い。
- ・協働センターにはいろいろな講座があり、もっと活用してほしい。
- ・お祭りが盛んで、スポーツが盛んなので、地域を愛し、地域に貢献できる大人になってほしい。
- ・家庭が最初の先生、教育のベースは家庭という意識がもう少しほしい。
- ・地域のボランティアは、連絡を密にするともっと広がるのではないか。
- ・大人になっても住み続けられる住みやすい町なので、誇りに思ってもらいたい。
- ・福祉の学習にも体験できる場所が沢山あるので、もっと活用したほうが良い。
- ・集団登校は、交通量が多い地域なので安心できるので続けてほしい。
- ・環境や施設に恵まれているので、授業をもっと工夫したほうが良い。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他連絡事項等

司会から、次回の会議は、9月18日(木)午後1時から開催する旨の連絡があった。